

令和2年度事業計画

1. 目的

観光地としての高尾山の魅力を未来へ継承するという、高尾山応援基金の目的を具現化するための事業として、これまで高尾山応援基金運営協議会で検討した活動支援事業・参加型事業・課題解決事業の3本を柱に事業を行う。

2. 事業

(1) 活動支援事業

高尾山の魅力を高める活動を行う団体に対して、活動費の助成を行う。活動を支援することを通じて、高尾山の魅力を高め、さらに活性化させるとともに、次世代につながる担い手となる活動団体を育成する。

予算額 団体3件 10万円（上限）

(2) 課題解決事業

高尾山の魅力を高めるために課題解決を行うためのプロジェクトを行う。平成29年度のイベントでのアンケート・聞き取り調査を踏まえて、外国人、子育て層などに対して、高尾山を楽しむために必要な情報の発信を行う。

(ア) 情報発信事業

① 高尾山アプリによる情報発信

事業内容 試行的に行っていた位置情報アプリを利用した情報発信を継続する。提供する情報の中で「ごみの持ち帰り」をはじめとした高尾山ルールへの周知等を行う。

開始時期 8月10日（月）（山の日）

予算額 無料（アプリの修正・開発等は有料）

協力団体 （株）夢現舎

② むささびハウス設置予定のデジタルサイネージを活用して高尾山応援基金のPRや高尾山に関する情報発信を行う。

(イ) ごみ袋活用事業

事業内容 昨年度製作したごみ袋を活用し、高尾山で行われる清掃活動のボランティアに対して提供する。

予算額 3万円（ごみ袋活用のPRチラシ・ポスター制作費）

(3) 参加型事業

高尾山の魅力を多くの人たちに伝えることを通じて、さらに高尾山の魅力を高める活動に関わる担い手の創出を目的とした参加型イベント等を開催する。

八王子産材による箸作り

| | |
|------|--|
| 事業内容 | 高尾山を訪れた小学生を対象に、多摩産材を用いた箸作り体験教室を行い、木工体験を通して、自然に親しみ、高尾山の自然に対して興味を持ってもらう。 |
| 実施時期 | 8月10日（月・祝）（山の日） |
| 予算額 | 3万円（昨年度実績） |
| その他 | 昨年に引き続き好評につき実施 |

3. PR・募金活動

(1) 啓発・募金事業

- ①若葉まつり 4月29日（水・祝）中止
- ②山の日 8月10日（月・祝）予定
- ③もみじまつり 11月7日（土）8（日）予定

(2) 常設募金箱設置

- ①高尾 599 ミュージアム
- ②ケーブルカー清滝駅
- ③むささびハウス

※今年度は高尾山駅から山頂にかけて1か所増設を検討

(3) 寄付つき商品事業

商品購入額の一部が高尾山応援基金に募金される寄付つき商品事業は、現在は高尾 599 ミュージアムで販売されているデザイン手拭い・ステッカー各3種及びレジ袋であるが、商品の種類と参加団体を増やし、充実をはかる。

- ①高尾 599 ミュージアム
デザイン手拭い・ステッカー各3種及びレジ袋
- ②八王子観光コンベンション協会
商品案 缶バッチ・木製キーホルダー等
販売場所 むささびハウス
金額・販売方法など詳細は検討

4. その他

(1) 事務局運営費

事務局運営費として、10万円を計上する。

(2) ホームページ経費

基金に関する情報発信を目的に平成30年度HPを開設した。令和2年度はホームページの経常経費として1万円を計上する。